



# MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機 産業用除湿機

形名

DEH-SP3A (セット形名)

(室内ユニット…DE-SP3A)  
(室外ユニット…DUH-P3A)

## 取扱説明書

冷媒 R410A

もくじ	
安全のために必ず守ること	2
1. 各部の名称	6
1-1. 各部のなまえ	6
1-2. 付属品	8
2. ご使用前に	9
3. 使いかた	10
3-1. 運転開始	10
3-2. 室内温湿度の表示	10
3-3. 設定湿度の変更	11
3-4. 運転モードの選択	13
3-5. 運転停止	14
3-6. 長期間使用しないとき	15
4. お手入れ	16
4-1. 日常の保守	16
5. 定期点検のお願い	17
6. 修理を依頼する前に	19
7. 環境関連の表示	21
8. 仕様	22
9. 保証とアフターサービス	24
9-1. 保証について	24
9-2. 機器予防保全と消耗部品の交換周期の目安	25
9-3. 補修用性能部品の保有期間	25
9-4. 修理について	25
9-5. 移設について	26
9-6. お問い合わせ	26
10. 別売部品	27

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- 受注仕様品については製品の細部が、この説明書と若干異なる場合があります。

# 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項

### 警告

**当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。**

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

**安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。**

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

**電源プラグを抜いて運転を停止しないこと。**

- 火傷・感電のおそれあり。



使用禁止

**改造はしないこと。**

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

**ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用し、針金・銅線で代用しないこと。**

- 発火・火災のおそれあり。



使用禁止

**特殊環境では、使用しないこと。**

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

**吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。**

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

**ユニットを水・液体で洗わないこと。**


- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**水・液体で洗わないこと。**


- ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**電気部品に水をかけないこと。**


- ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。**


- ・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

**掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。**


- ・けが・感電のおそれあり。
- ・ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

**薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。**


- ・薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ・薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



感電注意

**運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。**

- ・冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。




やけど注意

**注意**

**ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。**


- ・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

**殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。**


- ・変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

**パネルやガードを外したまま運転しないこと。**


- ・回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ・高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ・高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

**ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。**


- ・ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



使用禁止

**食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。**


- ・保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

**換気をよくすること。**


- ・冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ・冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



換気を実行

**換気をよくすること。**


- ・燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を実行

**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。**


- ・お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ・異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

**端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。**


- ・ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

**基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。**


- ・ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

**ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。**


- ・ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

**吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。**


- ・悪影響のおそれあり。



使用禁止

**ぬれて困るものを下に置かないこと。**


- ・ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



据付禁止

**部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。**


- ・けがのおそれあり。



接触禁止

**水の入った容器を製品などの上に載せないこと。**


- ・水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**電気部品を触るときは、保護具を身に付けること。**

- ・高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ・高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

◆ ファンによるけがのおそれあり。



## 移設・修理をするときに

### ⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



## お願い

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

◆ 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

◆ 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

◆ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

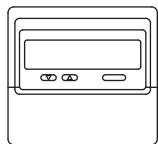
エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

◆ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

# 1. 各部の名称

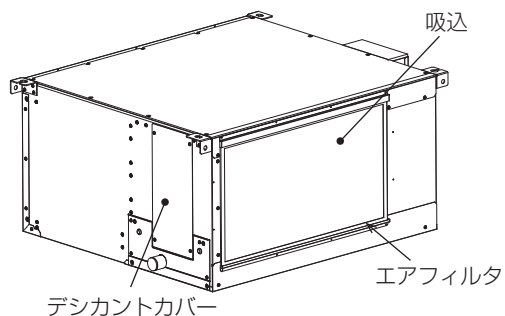
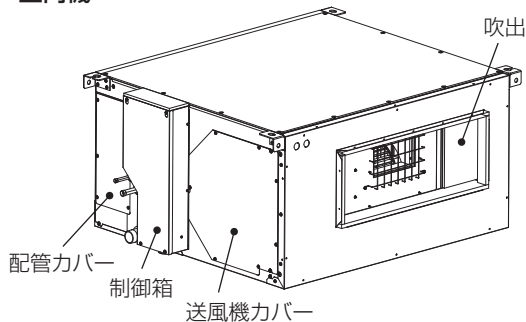
## 1-1. 各部のなまえ

### 1-1-1. 本体部

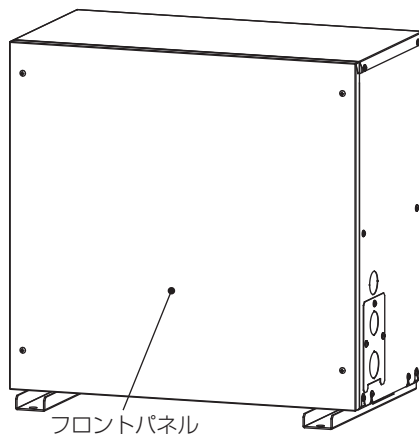


リモコン  
(KEH-P08A-RCに同梱) ※1

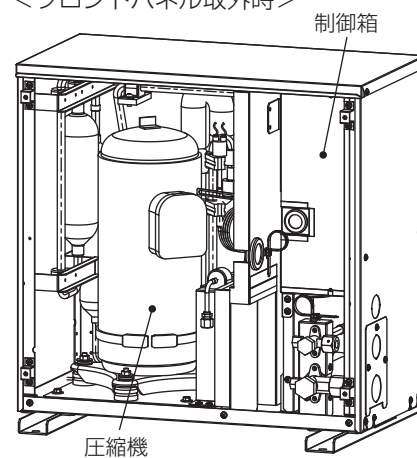
室内機



室外機



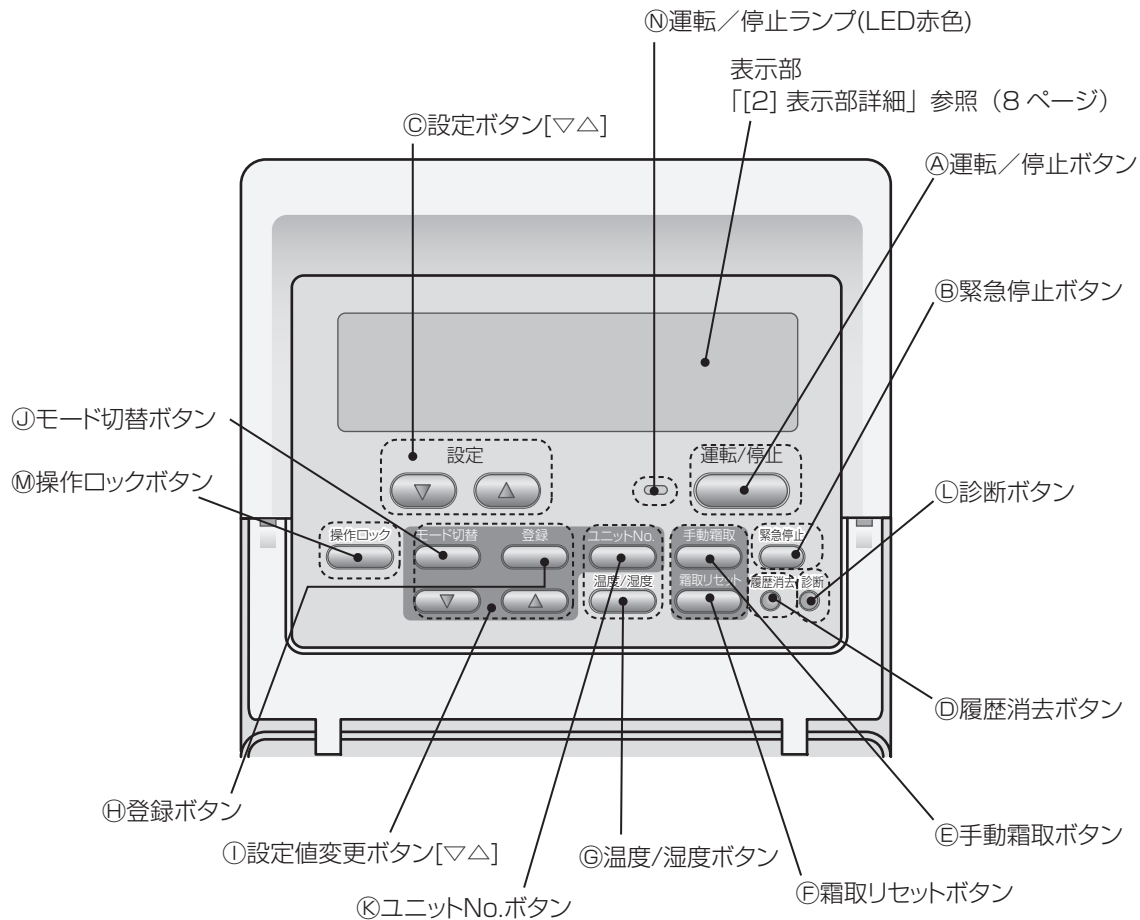
<フロントパネル取外時>



※1 リモコン詳細については関連ページを参照してください。  
「1-1-2. リモコン部」参照 (7ページ)

## 1-1-2. リモコン部

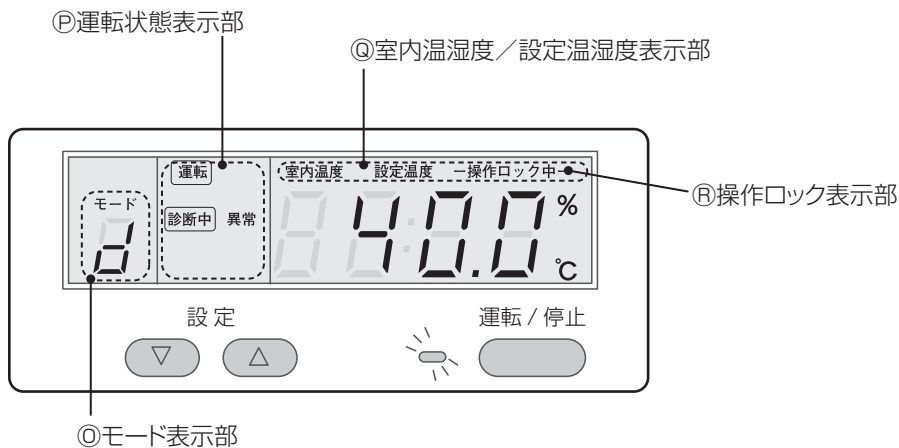
### [1] リモコン



項目	説明
⑬運転/停止ボタン	ボタンを押す度 (2 秒以上押し続ける)、運転⇔停止が切換わります。異常時はいったん停止させることにより異常停止が解除されます。
⑫緊急停止ボタン	ボタンを押すことによりユニット運転中圧縮機、送風機を瞬時に停止させます。
⑤設定ボタン [▽ △]	ボタンを1回押すことにより、設定値の確認ができます。設定値を表示中に押すことにより、設定値を変更することができます。操作ロック中には設定値の確認のみ可能です。
④履歴消去ボタン	3 秒以内に 2 回押しすることで、過去の異常履歴を消去します。
⑩手動霜取ボタン	操作無効
⑧霜取りリセットボタン	操作無効
⑦温度 / 湿度ボタン	ボタンを操作することにより、液晶表示内容を変更することができます。「室内温度」→「室内湿度」→「室内温度・湿度交互表示」→
⑧登録ボタン	モード設定時にボタンを操作することにより、設定値を登録することができます。
①設定値変更ボタン [▽ △]	モード設定時、各種設定値を変更します。
②モード切替ボタン	設定モード時にボタンを操作することにより設定する項目を切換えることができます。 モード1：運転モード モード2：湿度ディファレンシャル モード3：湿度設定ポイント ※ モード2、モード3は通常、設定する必要はありません。詳しくは据付工事説明書をご参照ください。
⑦ユニット No. ボタン	ボタンを操作することにより、グループ運転内の各ユニットの吸込空気を表示部に表示することができます。 ※ 通常は親機 (UC1) の吸込空気の状態を表示します。
④診断ボタン	3 秒以内に 2 回押しすることで、点検 (自己診断) モードに移行します。5 秒以上押し続けるとリモコン診断モードに移行します。

項目	説明
㊸操作ロックボタン	ボタンを押すことにより(2秒以上押し続ける)、他の操作ボタンが無効になります。 ※ [運転/停止]、[緊急停止] ボタンはロックしません。 ※ [▼▲設定] ボタンにより温度・湿度設定値の確認はできます。
㊹運転/停止ランプ (LED 赤色)	運転時「点灯」 異常時「点滅」

## [2] 表示部詳細



項目	説明
㊺モード表示部	通常は運転モードを表示します。 d：除湿固定 F：送風固定 モード切替時にはモード番号(1～3)を表示します。
㊸運転状態表示部	『運転』…運転時表示します。 『異常』…点検必要時表示します。
㊹室内温湿度/設定温湿度表示部	液晶表示の表示内容を表示します。 例、「室内」「温度」「設定」「湿度」 ※ 液晶の単位表示「℃」「%」も表示が変わります。
㊻操作ロック表示部	操作ロック時、表示します。

## 1-2. 付属品

NO.	品名	個数	備考
1	リモコン	1	DE-SP3A に同梱
2	座金	8	DE-SP3A に同梱 本体取付足の上下面に使用



---

## 2. ご使用の前に

---

- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「据付工事説明書の据付工事後の確認」の事項をお客様自身でご確認ください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

# 3. 使いかた

- 外部信号等で運転操作される場合は、その操作方法に従ってください。

## 3-1. 運転開始

### 手順

- [運転/停止] ボタンを押す。

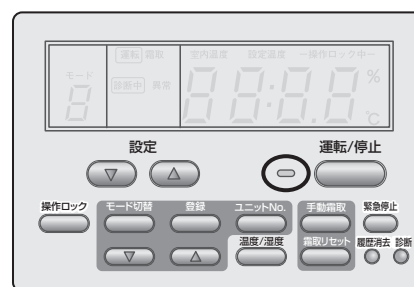
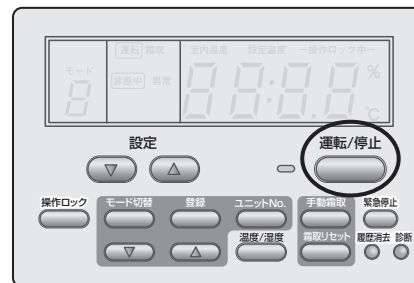
### お願い

- [運転/停止] ボタンは 2 秒以上押し続けてください。  
誤動作防止のため 2 秒程度時間を設けています。

運転ランプが点灯します。  
運転を開始します。

### お知らせ

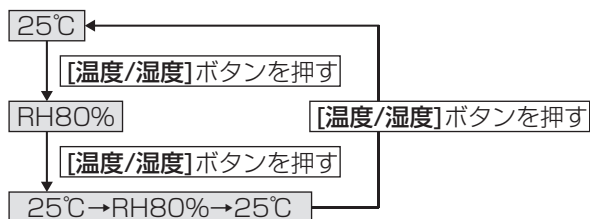
- 運転モード、温度設定、湿度設定などのリモコン設定内容は、一度設定すると電源を切った後も記憶していますので、運転の都度設定する必要はありません。
- 運転すると、圧縮機の動力分と水分の凝縮潜熱分より吹出空気温度は吸入空気温度より上昇します。



## 3-2. 室内温湿度の表示

### 手順

- [温度/湿度] ボタンを押す。  
ボタンを押すごとに表示内容が室内温度→室内湿度→室内温湿度交互に変更されます。



## 3-3. 設定湿度の変更

### 3-3-1. 設定湿度を変更する

#### 手順

1. 室内湿度表示中に [設定] ボタンを 1 回押す。  
設定湿度が表示されます。

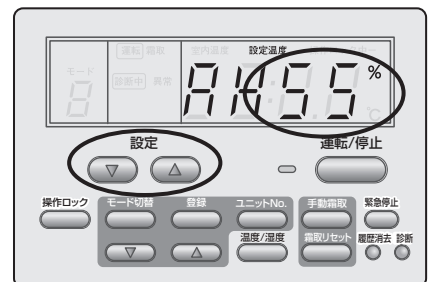


2. 設定湿度を変更するときは、[設定] ボタンを更に押す。

#### お知らせ

- 1 回押すごとに設定湿度を 1%変更できます。  
設定範囲は下記のとおりです。

湿度	初期値
29 ~ 85%	40%



3. 変更後、約 10 秒間放置する。  
10 秒後に室内湿度が再度表示されます。  
これにより設定が完了します。



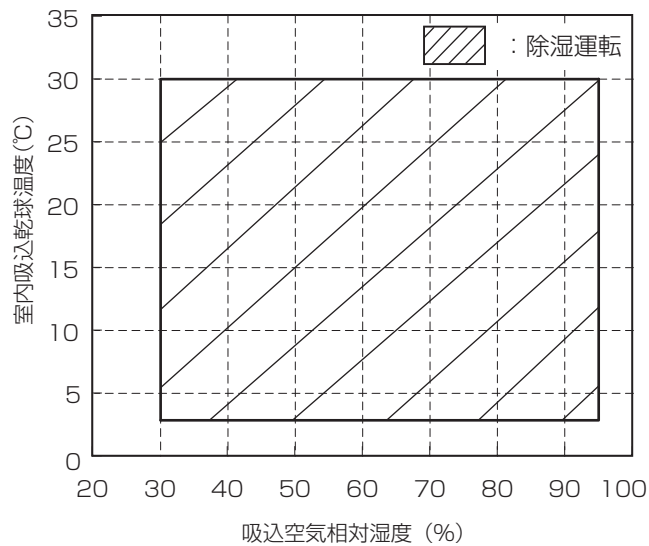
### 3-3-2. 運転温湿度範囲のめやす

下図の温湿度範囲内でご使用ください。

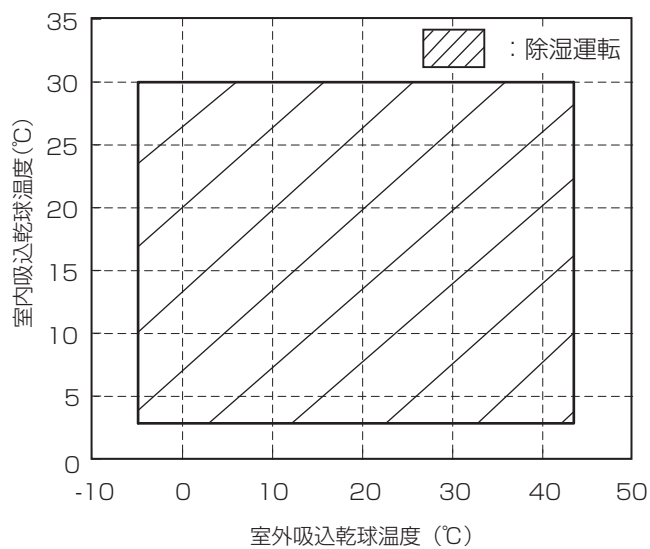
下図の範囲外でご使用になりますと、保護装置が作動してユニットが停止したりする場合があります。

#### ■DEH-SP3A

運転範囲<室内温湿度>



運転範囲<室内外温度>



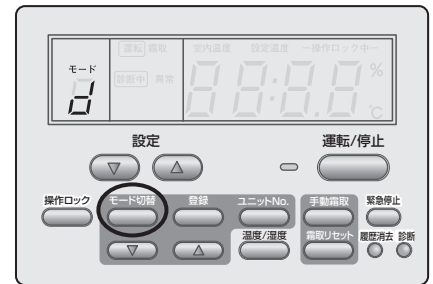
### 3-4. 運転モードの選択

通常は、変更せずに d (除湿固定) にて使用してください。  
 F：送風固定で使用する場合は、以下の説明に従って設定してください。

運転モード		運転内容
A	(無効)	運転モード d (除湿固定) に切替わります。
d	除湿固定	目標の湿度となるように除湿運転のみを行います。
C	(無効)	運転モード d (除湿固定) に切替わります。
F	送風固定	送風運転のみを行います。

#### 手順

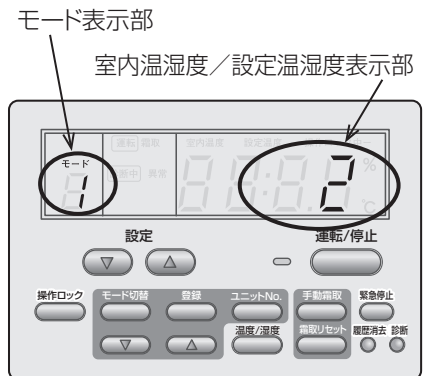
1. 運転中に [モード切替] ボタンを押す。



モード表示部に 1 と表示されます。  
 室内温湿度 / 設定温湿度表示部に現在の運転モード番号が表示されます。

#### お願い

- ・ [モード切替] ボタンを押すごとに、モード表示部に 1 ~ 3 まで表示されます。必ず 1 であることを確認し、次の操作に進んでください。

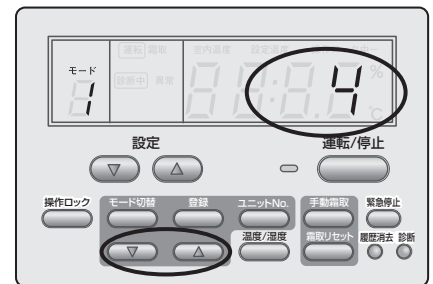


2. [設定値変更] ボタンを押して、希望の運転モードを選択する。

#### お願い

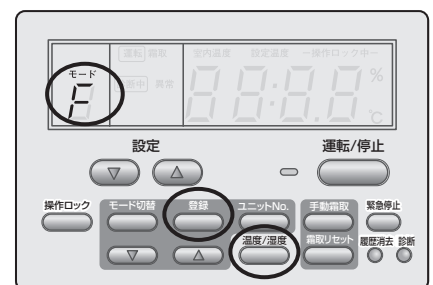
- ・ 運転モードと、室内温湿度 / 設定温湿度表示部番号の対比は下表となっています。希望の運転モードになるように表示部を確認しながら設定してください。

モード表示部 番号	運転モード		室内温湿度 / 設定温湿度 表示部番号
1	A	(無効)	1
1	d	除湿固定	2
1	C	(無効)	3
1	F	送風固定	4



3. [登録] ボタンを押す。  
 運転モードが変更されます。

4. [温度/湿度] ボタンを押して、モード表示部に希望の運転モードが表示されていることを確認する。



## 3-5. 運転停止

### [1] 通常の場合

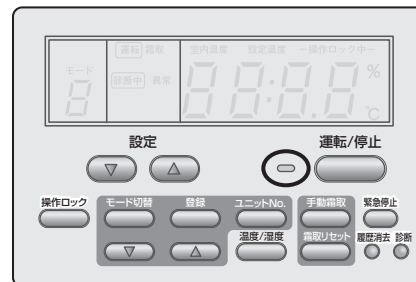
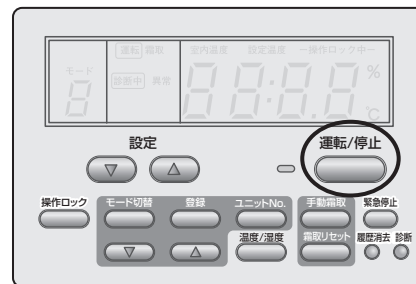
#### 手順

1. [運転/停止] ボタンを押す。

#### お願い

- [運転/停止] ボタンは 2 秒以上押し続けてください。  
誤動作防止のため 2 秒程度時間を設けています。

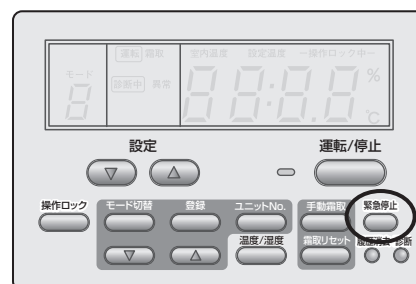
運転ランプが消灯します。  
運転を停止します。



### [2] ユニットの緊急に停止させたい場合

#### 手順

1. [緊急停止] ボタンを押す。
  - ユニットはすぐに停止します。

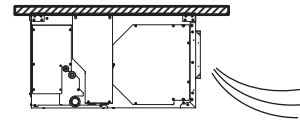


## 3-6. 長期間使用しないとき

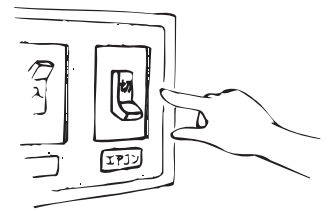
### [1] 運転停止のやりかた

#### 手順

1. 4～5 時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. リモコンの [運転/停止] ボタンを押して、運転を停止する。



3. 室内・室外ユニットの電源（ブレーカ）を切る。



### [2] 再度使い始めるとき

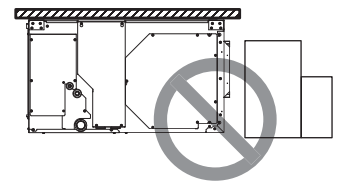
- 下記作業 1～3 の点検を行い、異常のないことを確認後、電源（ブレーカ）を入れてください。
- 電源（ブレーカ）を入れてから 6 時間以上経過後、運転を開始してください。

#### 手順

1. エアフィルタを清掃して、取付ける。



2. 室内ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



3. ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

# 4. お手入れ

## 4-1. 日常の保守

### ⚠ 警告

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



### ⚠ 注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

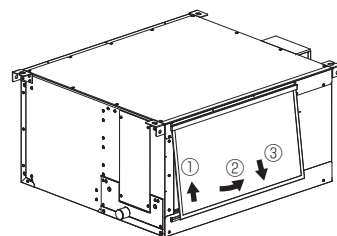
- けがのおそれあり。



#### (1) エアフィルタの清掃

##### 手順

1. エアフィルタを取外す。  
吸込グリルの内側に取付けられています。一度上に持ち上げ、斜め下方に引き出してください。
2. 取外したエアフィルタのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。
  - 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
  - 50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
  - もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
  - すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。



##### 洗浄の目安

ホコリの少ない場所	月 1 回程度
ホコリの多い場所	週 1 回程度

3. 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。  
直射日光や直接火に当てて乾かさないうでください。変形・変色することがあります。
4. エアフィルタを元どおりに取付ける。



#### (2) パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ります。

##### お願い

ベンジン・シンナーの使用はさけてください。





## 5. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」に連絡してください。

### JRA\* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。\*JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会

・ JRA GL-14 について、<http://www.jraia.or.jp/info/gl-14/>

・ フロン漏えい点検制度について、[http://www.jarac.or.jp/business/cfc\\_leak/](http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/)

# 様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号	
------	--

施設所有者								設備製造者							
施設名称					系統名					設置年月日					
施設所在地					電話					使用機器	型式		製品区分		
運転管理責任者					電話						製番		設置方式 現地施工		
点検事業者	会社名				責任者						用途		検知装置		
	所在地				電話					冷媒量(kg)		合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
使用冷媒				初期充填量(kg)				点検周期	基準			実績(月)			
作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	フィッストNo.	確認者					

## 6. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源スイッチを切ってください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店）にご連絡ください。

### [1] ようすがおかしいとき

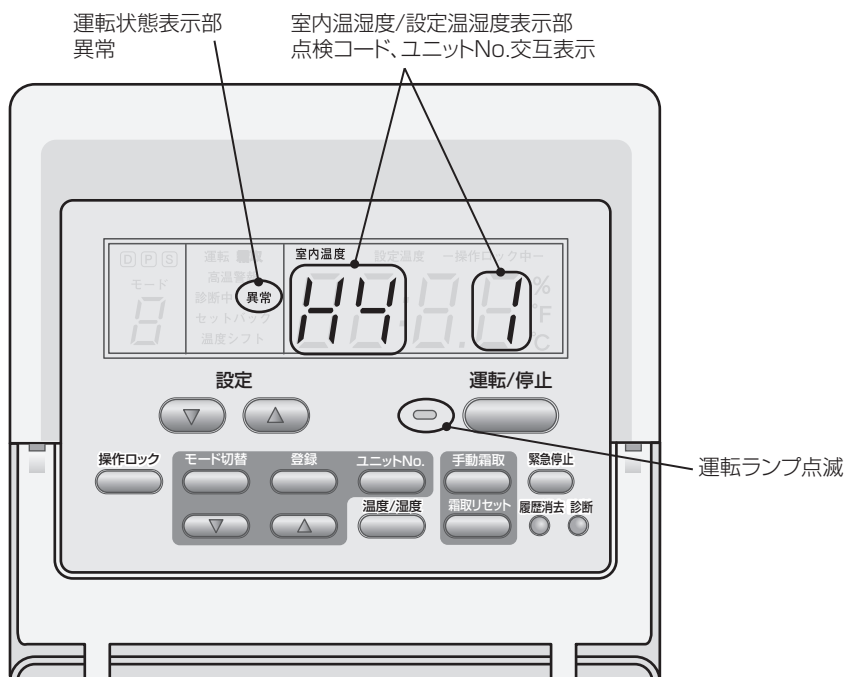
No.	現象	原因の確認	処置方法
1	動かない。 リモコンの運転表示が点灯しない。	電源（ブレーカ）が入っていますか。	電源（ブレーカ）を入れてください。
2	<b>[運転・停止]</b> ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	外部入力信号にて ON 操作した場合は、 <b>[運転・停止]</b> ボタンを押さなくても動き出します。	異常ではありません。
3	<b>[運転・停止]</b> ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	外部入力信号にて ON 操作した場合は、 <b>[運転・停止]</b> ボタンを押さなくても動き出します。	異常ではありません。
4	<b>[運転・停止]</b> ボタンを押したのに停止しない。	霜取運転中に <b>[運転・停止]</b> ボタンを押しても、霜取終了まで運転を継続します。	異常ではありません。
5	湿気が取れない。 風量が低下している。	・ 温湿度設定値を確認してください。	・ 温湿度設定値を調整してください。
		・ フィルタ・デシカント材が汚れ、目詰まりしていませんか。	・ フィルタ・デシカント材の清掃をしてください。
		・ 室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていませんか。	・ 室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
		・ 室内の湿度の偏りにより、2 台以上設置したとき除湿量に差が出ます。	異常ではありません。
6	再運転のために停止後すぐに <b>[運転・停止]</b> ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	機器を保護するため、マイコンの指示で止まっています。	停止から、約 3 分間待ってください。
7	水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。	異常ではありません。 もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
8	“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。	異常ではありません。 もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
9	室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。	異常ではありません。
10	吹出し温度が上昇する	水分の凝縮潜熱分より吹出し空気温度は上昇します。	異常ではありません。

## [2] 点検コードについて

異常発生のおき

- ・ 運転状態表示部に『異常』表示します。
- ・ 運転ランプが点滅します。
- ・ 室内温湿度 / 設定温湿度表示部に点検コードとユニット No. が交互点滅します。

ご自身では絶対に修理しないでください。除湿機の電源（ブレーカ）を切り、点検コードとユニット No. をメモしてお買い上げの販売店にお申しつけください。



点検コード	不具合内容	備考
C2	サーミスタ<LEV直前液温度>異常 (TH2)	異常時、運転 / 停止ボタンを押して停止させることで、『異常』表示を解除できます。
C3	サーミスタ<冷却器入口温度>異常 (TH3)	
C4	サーミスタ<吸入温度>異常 (TH4)	
C6	サーミスタ<吸込空気温度>異常 (TH6)	
C7	湿度センサ<吸込空気湿度>異常 (TH7)	
C8	サーミスタ<再熱器入口温度>異常 (TH8)	
EF	温度開閉器<送風機>作動	
F1 ~ F4	リモコン通信送受信異常	
H4	室内外配線不良	
L2	液バック異常	
L3	低圧カット異常	

---

## 7. 環境関連の表示

---

ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店、またはメーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

# 8. 仕様

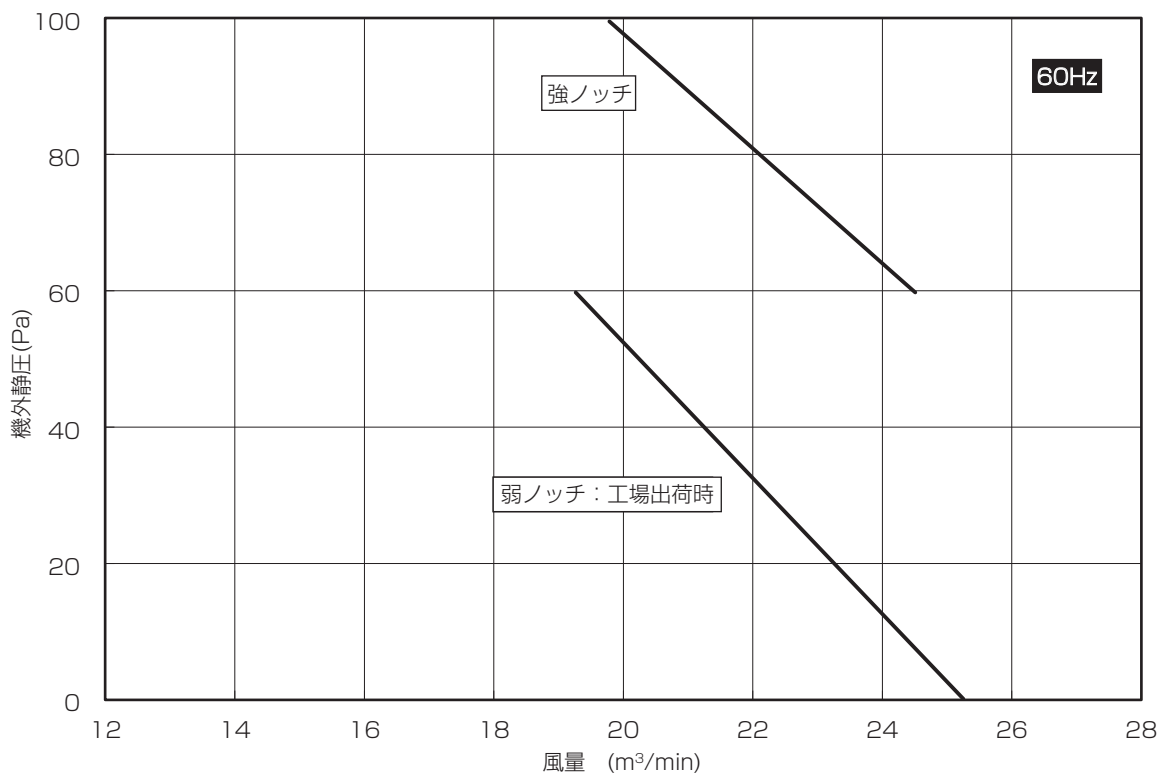
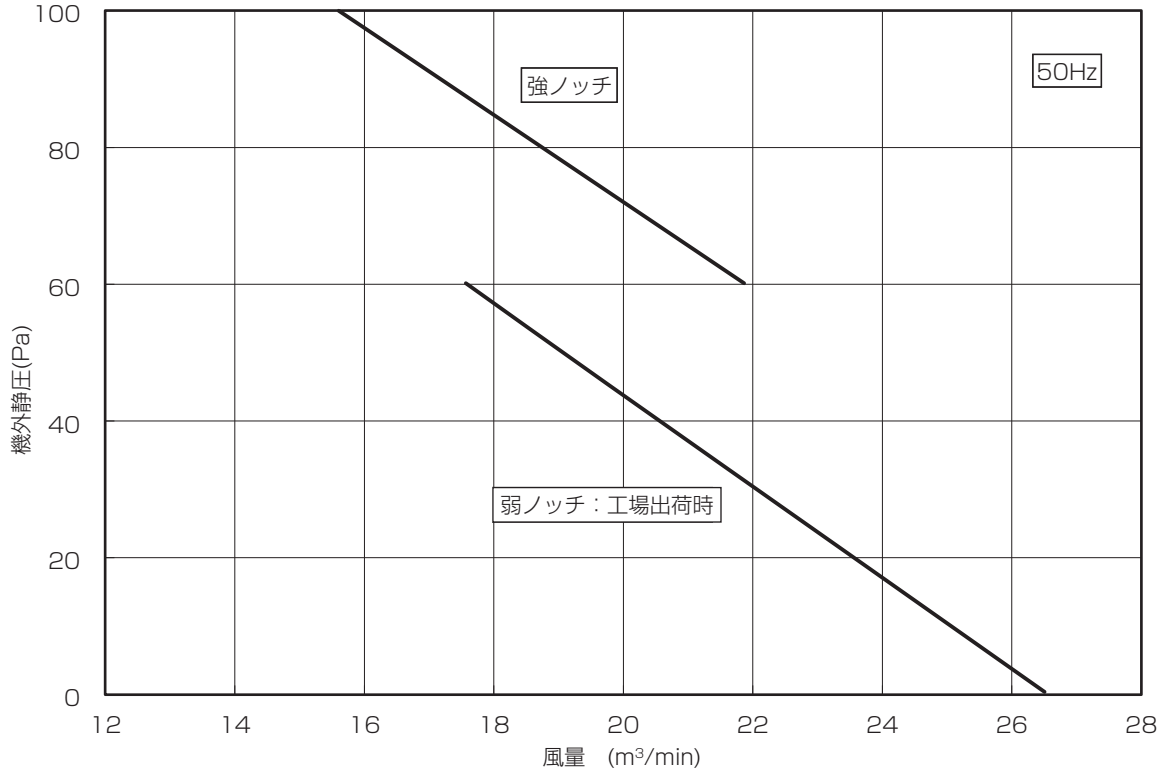
項目	セット形名		DEH-SP3A	
使用温度範囲	室内ユニット	℃ [DB]	3 ~ 30	
	室外ユニット	℃ [DB]	- 5 ~ 43	
除湿	除湿能力※ 1		L/h	
	電気特性 (室内側)	消費電力	kW	1.34 / 1.67
		運転電流	A	0.17 / 0.2
		力率	%	0.7 / 0.7
	電気特性 (室外側)	消費電力	kW	70 / 82
		運転電流	A	1.3 / 1.6
		力率	%	5.2 / 5.9
始動電流		A	71 / 78	
電源			65 / 59	
室内ユニット	形名		DE-SP3A	
	送風機	形式		シロココファン
		電動機呼称出力	kW	0.13
		機外静圧	Pa	0 ~ 100
		標準風量	m <sup>3</sup> /min	22 / 22
	冷媒	冷媒制御		電子式膨張弁
	除霜方式			ホットガス式
	エアフィルタ			PP ハニカム<水洗浄式>
	保護装置			熱動温度開閉器 (送風機インナーサーモ)
	運転調節装置			湿度調節器<内蔵>
	付属品			リモコン:C-202K
	騒音		dB(A)	52 / 52
	塗装色<マンセル記号>			マンセル 5Y 8/1
	外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	600 × 1,080 × 1,145
	製品質量		kg	152
	配管寸法	冷媒出口	mm	φ 19.05 ろう付接続
		冷媒入口	mm	φ 12.7 ろう付接続
室外ユニット	形名		DUH-P3A (-BS・-BSG)	
	圧縮機	型式		全密閉スクロール式
		電動機呼称出力	kW	2.2
		クランクヒータ	W	25
	冷凍機油	L		DAPHNE FV50S 1.2L
	冷媒	封入量	kg	R410A × 3.05 (配管長: 5m)
	保護装置			熱動過電流継電器 (圧縮機)、熱動温度開閉器 (吐出ガス)、 高圧圧力開閉器、低圧圧力開閉器
	騒音		dB(A)	42.0 / 45.0
	塗装色<マンセル記号>			マンセル 5Y 8/1
	外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	600 × 600 × 400
	製品質量		kg	67
	配管寸法	冷媒出口	mm	φ 12.7 フレア接続
冷媒入口		mm	φ 19.05 フレア接続	
リモコン	型名		C-202K	
	据付条件		屋内設置・周囲温度 0 ~ + 40℃・周囲湿度 30 ~ 80%	
	塗装色<マンセル記号>		マンセル 4.48Y 7.92/0.66	
	湿度設定範囲		%	29 ~ 85
	外形寸法<高さ×幅×奥行>		mm	120 × 130 × 28

- ※1 除湿能力※ 1は、室内吸込空気乾球温度 10℃ [DB]、相対湿度 50%  
室外吸込空気乾球温度 30℃ [DB] で除湿運転した場合の値を示します。
- ※2 停止中も電源を落とさないでください。  
(クランクケースヒータが通電されていないと圧縮機を保護できません。)  
長期停止から再運転・試運転する場合は6時間以上に電源を入れクランク  
ケースヒータに通電してください。
- ※3 仕様は改良の為、予告無く変更する場合があります。
- ※4 リモコンは、結露する場所、水滴の掛かる場所、腐食性雰囲気には取り付けないでください。

## 基本動作

本ユニットは、通常運転中に除湿運転（吸着運転）と霜取運転（脱着運転）を交互に実施します。

- 運転時間は温湿度により変化します。
- 安定した温湿度の調整は行えません。（霜取運転では、除湿量が低下します）
- 高温運転時でも霜取運転（脱着運転）に入ります。
- 吸込み温湿度の変動が大きい場合は、除湿能力の低下となることがあります。
- サーモ OFF 時に相対湿度が上昇することがあります。
- 使用中、運転状態の確認はできません。



- ※1 機外静圧が 60Pa 以上の場合は、付属の風量切替コネクタを取り付けてください。  
（弱ノッチ→強ノッチへ切替わります）
- ※2 OP 部品の機外静圧は、下記の通りとなります。
- プレナムチャンバー — 機外静圧 5Pa
  - フィレドンフィルタ — 機外静圧 10Pa

# 9. 保証とアフターサービス

## 9-1. 保証について

- 保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年です。  
保証期間でも有償となる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害（冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの補償）の責については、ご容赦ください。

### 9-1-1. 保証できない範囲

#### 1) 下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

項目	使用範囲
周囲温度・湿度	P.12 記載の使用範囲内
電源	三相 200V 50/60Hz
運転中の電圧	180～220V
始動時の最低電圧	170V 以上
相間電圧不平衡率	2% (4V) 以内

#### 2) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

#### 3) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合

- 塩害
- 据付場所不備による事故（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）
- メンテナンス不備（ガス漏れを気づかなかった場合）
- 現地配管工事による事故（口ウ付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入）
- 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
- 真空運転による空気、水分を吸込んだと判断される場合
- ショートサイクル運転による事故（運転－停止各々3分以下をショートサイクルと称す。）

#### 4) 天災、火災による事故

#### 5) 据付工事中に不都合がある場合

- 据付工事中取扱い不良のため損傷、破損した場合
- 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

#### 6) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。（代理店等と相談して損害保険に加入してください。）



## 9-2. 機器予防保全と消耗部品の交換周期の目安

本製品の設計標準使用期間は次の内容を守った上で 10 年です。本項の他、「9-1-1. 保証できない範囲 (24 ページ)」の「使用範囲」設計標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。なお設計標準使用期間は保証期間ではありません。

**保全周期 (交換周期) は保証期間を示しているものではありません。**

主要部品名	点検周期	保全周期 (交換または修理)	主要部品名	点検周期	保全周期 (交換または修理)
圧縮機	1 年	20,000 時間	膨張弁	1 年	20,000 時間
モータ		20,000 時間	バルブ (電磁弁など)		20,000 時間
ベアリング		15,000 時間	センサ (サーミスタなど)		5 年
電子基板類		25,000 時間			
熱交換器		5 年	ドレンパン		8 年
デシカント材		20,000 時間	—		—

※1 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

※2 この保全周期は、使用方法・環境により前後します。製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計 (保守点検費用の予算化など) のためにお役立てください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

※3 性能部品 (消耗部品) の供給保証期間は製造中止後 10 年です。

## 9-3. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後 9 年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この基準により、補修用性能部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施いたします。

## 9-4. 修理について

- 修理を依頼される時は、「6. 修理を依頼する前に」の項にしたがってお調べください。(19 ページ参照)
- 不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず元電源を遮断してから、お買い上げの販売店 (工事店・指定のサービス店) かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙) にご連絡ください。
- 保証期間中は、修理に際しまして、保証書をご提示ください。保証書の規程にしたがって、販売店 (工事店) が修理させていただきます。
- なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 修理料金は、技術料 + 部品代 + 出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する料金

- 必要に応じて据付 (接続・調整・取扱説明など) 依頼すると有料になることがあります。
- ご連絡いただきたい内容 (出張修理対象商品)

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日： 年 月 日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

---

## 9-5. 移設について

- ・ 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご相談ください。

---

## 9-6. お問い合わせ

- ・ ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店・指定のサービス店）かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。  
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。）

### お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

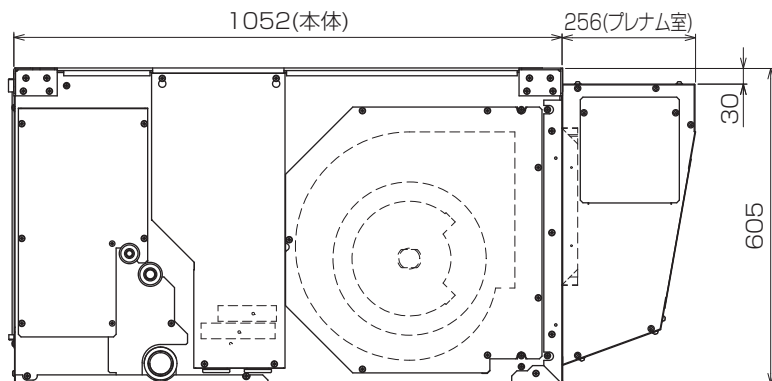
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

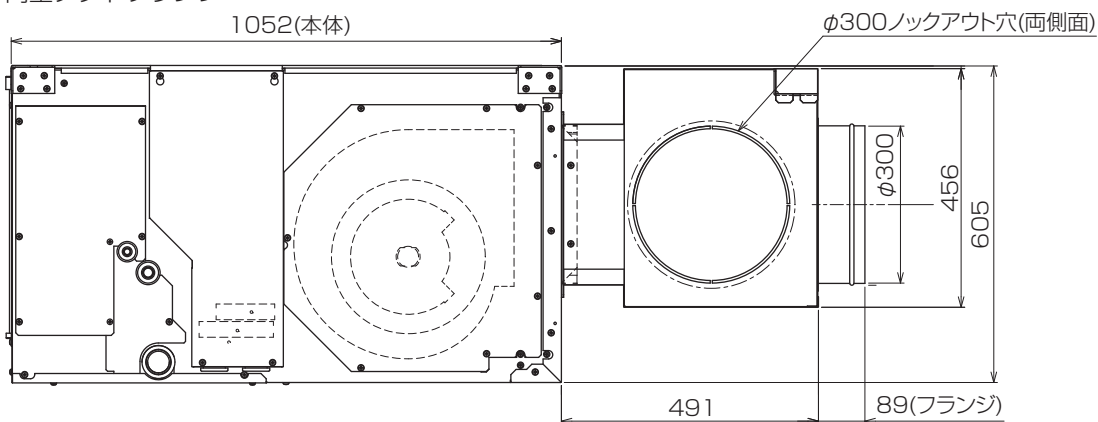
# 10. 別売部品

三菱電機販売店でお求めください。

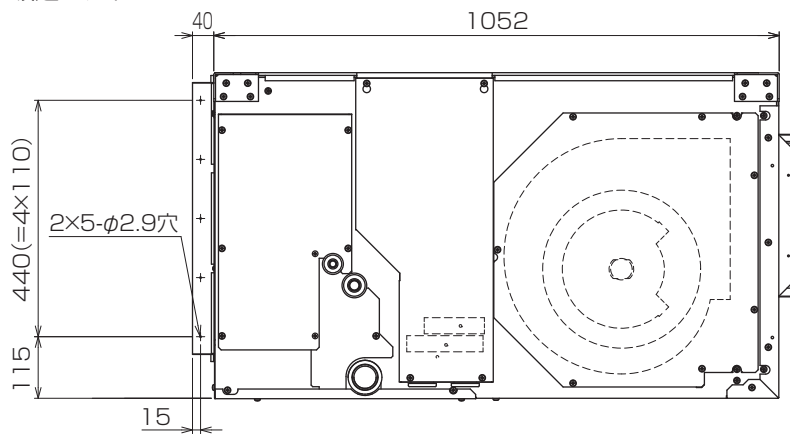
- プレナムチャンバー




- 円型ダクトフランジ



- 吸込ダクトフランジ



便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

	<b>愛情点検</b> ●長年ご使用のユニットの点検をぜひ!	<small>(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)</small>			
	<table border="1"> <tr> <td>           このような症状はありませんか         </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転音が異常に大きくなる。</li> <li>●室内ユニットから水が漏れる。</li> <li>●電源が頻繁に落ちる。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul> </td> <td> <b>ご使用中止</b> </td> <td>           故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店にご相談ください。         </td> </tr> </table>	このような症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転音が異常に大きくなる。</li> <li>●室内ユニットから水が漏れる。</li> <li>●電源が頻繁に落ちる。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul>	<b>ご使用中止</b>	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店にご相談ください。
このような症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転音が異常に大きくなる。</li> <li>●室内ユニットから水が漏れる。</li> <li>●電源が頻繁に落ちる。</li> <li>●その他の異常・故障がある。</li> </ul>	<b>ご使用中止</b>	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店にご相談ください。		

ユニットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

<b>三菱電機冷熱相談センター</b>
<b>0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)</b>
<small>FAX(365日・24時間受付)</small> <b>0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)</b>

# 三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT08077X01